平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月2日

上場会社名　株式会社ワンダーコーポレーション　　上場取引所　大
コード番号　3344　URL　http://www.wonder.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 日下　孝明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長　(氏名) 塚田　英雄　TEL 029-853-1313

四半期報告書提出予定日　平成24年7月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	15,498	5.8	299	141.1	331	127.1	99	―
24年2月期第1四半期	14,654	△5.9	124	14.9	145	15.4	△479	―

(注)包括利益　25年2月期第1四半期　99百万円　(―%)　24年2月期第1四半期　△479百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	1,945.04	―
24年2月期第1四半期	△9,375.76	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	26,637	10,145	37.9	197,538.09
24年2月期	26,746	10,173	37.9	198,096.91

(参考) 自己資本　25年2月期第1四半期　10,103百万円　24年2月期　10,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	―	0.00	―	2,500.00	2,500.00
25年2月期	―				
25年2月期(予想)		0.00	―	2,500.00	2,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,600	2.9	440	3.7	480	2.1	50	―	977.54
通期	66,400	1.1	1,500	17.8	1,550	12.4	500	―	9,775.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	54,036 株	24年2月期	54,036 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	2,887 株	24年2月期	2,887 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	51,149 株	24年2月期1Q	51,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
（４）追加情報 ……3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……3
４．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
（５）重要な後発事象 ……8
５．補足情報 ……11
セグメント別商品別販売実績 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で低下した企業の生産活動が回復に向かっているものの、欧州の政府債務危機等による欧米経済の先行きへの懸念や円高により、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは更なる事業拡大のため、資本業務提携先である株式会社サンレジャーの株式を追加取得し、子会社化することを４月26日の取締役会において決議いたしました。また、５月24日付で代表取締役社長に日下孝明氏が就任し、新たな経営体制のもと、経営基盤の更なる強化と企業価値の向上を図ってまいります。

WonderGOO事業におきましては、お客様のスマートフォンで認証フリーのWi-Fi環境と店内限定コンテンツをお楽しみいただけるサービス「WonderGOO Touch!」を４月より開始いたしました。今後、この「WonderGOO Touch!」を通じて、店舗をコンテンツとお客様が集まる場所、ネットとリアルが融合するハイブリッド型店舗として進化させてまいります。

WonderREX事業におきましては、買取品の補修を集中して行うリペアセンターを業務拡大のため移転し、補修効率の更なる向上に努めてまいりました。また、店舗の業務フローの見直しを行い、買取から販売までの効率化を目的とした改装を行いました。

店舗面におきましては、当第１四半期連結会計期間末の直営店舗数は97店舗、ＦＣ店舗数は22店舗となりました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間における売上高は15,498百万円（前年同期比5.8％増)、営業利益299百万円（前年同期比141.1％増)、経常利益331百万円（前年同期比127.1％増）、四半期純利益99百万円（前年同期は479百万円の四半期純損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、14,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円増加いたしました。これは主に未収入金が135百万円減少したものの、現金及び預金が245百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、12,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が６百万円増加したものの、有形固定資産が133百万円、投資その他の資産が122百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、13,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円増加いたしました。これは主に買掛金が318百万円、1年内返済予定の長期借入金が68百万円減少したものの、短期借入金が200百万円、未払法人税等が210百万円、賞与引当金が151百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第１四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ289百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が277百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益99百万円の増加と、剰余金の配当127百万円の支払いによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年４月９日付で公表しました連結業績予想の変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	964,230	1,210,136
売掛金	859,721	766,732
商品	9,457,339	9,371,056
貯蔵品	22,789	26,836
未収入金	1,513,793	1,378,295
繰延税金資産	808,361	885,892
その他	597,456	724,322
貸倒引当金	△2,563	△2,544
流動資産合計	14,221,130	14,360,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,747,782	4,627,613
その他（純額）	1,497,976	1,484,786
有形固定資産合計	6,245,758	6,112,400
無形固定資産		
その他	315,957	322,400
無形固定資産合計	315,957	322,400
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,716,087	4,614,384
その他	1,326,984	1,396,477
貸倒引当金	△79,265	△169,231
投資その他の資産合計	5,963,806	5,841,630
固定資産合計	12,525,523	12,276,431
資産合計	26,746,653	26,637,159

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年５月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,305,791	4,987,619
短期借入金	3,650,000	3,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,254,496	1,185,996
未払法人税等	21,258	231,538
賞与引当金	145,819	297,194
ポイント引当金	1,348,775	1,352,266
災害損失引当金	4,730	530
その他	1,408,112	1,442,274
流動負債合計	13,138,983	13,347,419
固定負債		
長期借入金	1,760,150	1,483,026
退職給付引当金	186,281	188,923
長期預り保証金	280,908	290,233
資産除去債務	484,914	487,292
その他	721,721	695,152
固定負債合計	3,433,975	3,144,628
負債合計	16,572,958	16,492,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,360,793	2,360,793
利益剰余金	5,625,339	5,596,954
自己株式	△212,931	△212,931
株主資本合計	10,132,103	10,103,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355	158
その他の包括利益累計額合計	355	158
新株予約権	41,236	41,236
純資産合計	10,173,694	10,145,111
負債純資産合計	26,746,653	26,637,159

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年５月31日）
売上高	14,654,087	15,498,377
売上原価	10,761,453	11,243,253
売上総利益	3,892,634	4,255,123
販売費及び一般管理費	3,768,343	3,955,460
営業利益	124,290	299,662
営業外収益		
受取利息	11,887	11,107
受取手数料	21,119	24,313
その他	19,111	22,873
営業外収益合計	52,118	58,295
営業外費用		
支払利息	30,444	25,364
その他	81	1,240
営業外費用合計	30,525	26,604
経常利益	145,883	331,353
特別利益		
固定資産売却益	－	7,177
貸倒引当金戻入額	2,052	－
災害見舞金	13,060	－
特別利益合計	15,112	7,177
特別損失		
固定資産除却損	15,054	－
減損損失	64,736	－
貸倒引当金繰入額	－	90,116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	224,321	－
災害による損失	292,722	－
特別損失合計	596,834	90,116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△435,838	248,414
法人税、住民税及び事業税	30,639	219,280
法人税等調整額	13,082	△70,352
法人税等合計	43,722	148,927
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△479,560	99,486
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△479,560	99,486

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年５月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年５月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△479,560	99,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	△196
その他の包括利益合計	△71	△196
四半期包括利益	△479,632	99,289
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△479,632	99,289
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末と比較して著しい変動はありません。

（５）重要な後発事象

(株式取得による会社等の買収)

当社は、平成24年４月26日開催の当社取締役会において、株式会社サンレジャーの株式を取得し、子会社化することを決議し、平成24年６月１日付で株式会社サンレジャーの株式を取得し、子会社化いたしました。

１．取得による企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

① 名称　　株式会社サンレジャー

② 事業の内容　　ＤＶＤ、ＣＤ、雑誌、ゲームの販売及びＤＶＤ、ＣＤのレンタル

(2) 企業結合を行う主な理由

当社及び株式会社サンレジャーは、当社が持つＤＶＤ・ＣＤ・ゲーム等のセル及びリサイクルに関するノウハウと、株式会社サンレジャーが持つＤＶＤ・ＣＤのレンタルに関するノウハウを相互に提供することにより、両社の企業価値の向上を図ることを目的として平成23年７月21日に資本業務提携契約書を締結し、業務提携の詳細について協議・検討を行ってまいりました。

両社が属するエンタテインメント小売業界におきましては、ネット通販や電子書籍、音楽・映像のコンテンツ配信等、商品やサービスを得る手段の多様化により、業種業態を超えた企業間競争が激化し、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、今後は、当社と重複しない地域における株式会社サンレジャー店舗を更なる大型店舗として移転増床することで、当社の更なる事業拡大を図ります。更には当社より人員の派遣、運営・管理手法や仕入の共有化等の強みを活用することによりシナジーの強化を図るため、同社株式の追加取得を行い、子会社化するものであります。

(3) 企業結合日

平成24年６月１日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 取得する議決権比率

① 企業結合直前に所有している議決権比率　　2.90％

② 企業結合日に追加取得する議決権比率　　58.14％

③ 取得後の議決権比率　　61.04％

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の61.04％を獲得するためであります。

２．被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	従来から保有している株式会社サンレジャーの株式の企業結合日における時価	30,000千円
	企業結合日において取得する株式会社サンレジャーの株式の時価	602,400千円
取得に直接要した費用	アドバイザリー費用等	39,300千円
合計		671,700千円

３．被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計との差額

段階取得による差損益　―千円

４．企業結合日に受け入れる資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

５．発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

（自己株式の処分）

当社は、平成24年４月26日開催の当社取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、平成24年６月１日付で以下のとおり実施いたしました。

なお、当該第三者割当増資に伴い、当社の大株主の異動があります。

１．自己株式の処分

(1) 処分株式数

普通株式2,887株

(2) 処分価格

１株につき金80,300円

(3) 資金調達の額

231,826,100円

(4) 処分方法

第三者割当による処分

(5) 処分先

日下 孝明

(6) 処分期日

平成24年６月１日

(7) 目的

当社が属するエンタテインメント小売業界におきましては、ネット通販や電子書籍、音楽・映像のコンテンツ配信等、商品やサービスを得る手段の多様化により、業種業態を超えた企業間競争が激化する等、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社は更なる企業価値の向上のため、音楽・映像ソフトのレンタル事業を含めた大型複合店舗の積極的な出店により、事業拡大を目指します。そのためには現在、当社と資本業務提携関係にある株式会社サンレジャーとの一層の関係の深化が重要であります。

処分先である日下 孝明氏は、株式会社サンレジャーの取締役会長であり、レンタル事業における豊富な経験、アイデアや広い人脈を持っております。今般、レンタル事業を中心に展開している株式会社サンレジャーを子会社化し集客力の高い大型複合店舗を共に出店するため、同氏を当社の代表取締役とし、また、当社の経営への参画意識をより高め、レンタルをはじめとするエンタテインメント

小売業界における当社のシェアを拡大し、企業価値向上に資するものとして、同氏に対して当社株式を割り当てるものであります。

２．大株主の異動

(1) 当該異動に係る大株主の氏名又は名称

新たに大株主となるもの

日下 孝明

(2) 当該異動に係る大株主の持分比率

日下 孝明　5.38%

なお、処分後の大株主の持分比率は、平成24年２月29日現在の発行済株式総数（54,036株）から株式会社サンレジャーが所有し相互保有となる株式数（400株）を控除して計算しております。

５．補足情報

セグメント別商品別販売実績

（単位：百万円、％）

商品名		当第１四半期連結累計期間（自 平成24年３月１日 至 平成24年５月31日）		前年同四半期比
		金額	構成比	
ゲームソフト及び関連商品	新　品	2,567	16.6	5.7
	中古品	1,409	9.1	4.9
	卸　売	581	3.8	△ 13.0
	計	4,558	29.4	2.6
音楽ソフト	新　品	905	5.8	12.4
	中古品	378	2.4	4.3
	卸　売	185	1.2	△ 6.1
	計	1,469	9.5	7.6
映像ソフト	新　品	489	3.2	19.6
	中古品	358	2.3	1.3
	卸　売	139	0.9	2.9
	計	987	6.4	9.9
書籍	新　品	3,347	21.6	4.9
	中古品	159	1.0	△ 2.4
	卸　売	403	2.6	△ 7.8
	計	3,911	25.2	3.1
化粧品	新　品	487	3.1	5.7
	卸　売	38	0.2	△ 2.2
	計	525	3.4	5.1
携帯電話	新　品	1,208	7.8	△ 3.2
レンタル	レンタル	944	6.1	11.3
その他	その他	512	3.3	0.5
WonderGOO事業	新　品	9,005	58.1	5.4
	中古品	2,305	14.9	3.7
	レンタル	944	6.1	11.3
	その他	512	3.3	0.5
	卸　売	1,349	8.7	△ 8.8
	計	14,117	91.1	3.8
リユース商品		1,300	8.4	33.0
その他		66	0.4	22.9
WonderREX事業	計	1,366	8.8	32.5
報告セグメント計		15,483	99.9	5.8
その他	計	14	0.1	△ 10.4
合計		15,498	100.0	5.8

（注）１　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
　　２　セグメント間取引については、相殺消去しております。